

# 社会科学実験研究センター共催ワークショップ

日時：3月23日（月）13:30～17:45

場所：文学部E304室

13:30～14:30 依田 高典 (京都大学大学院経済学研究科)

The Persistence of Moral Suasion and Economic Incentives:  
Field Experimental Evidence from Energy Demand

14:30～14:45 牛房 義明 (北九州市立大学経済学部)

北九州市のフィールド社会実験—変動型電気料金—

14:45～15:00 王 文杰 (京都大学大学院経済学研究科)

米国ロスアラモスのフィールド社会実験—オプトイン・オプトアウト—

(休憩)

15:30～16:00 高橋 泰城 (北海道大学大学院文学研究科)

未来志向性の神経経済学

16:00～16:15 徳田 真佑 (北海道大学大学院文学研究科)

『自己のための異時点間選択と他者のための異時点間選択との関係』についての  
心理物理学的分析

16:15～16:30 大沼 進 (北海道大学大学院文学研究科)

環境行動研究におけるフィールド調査とアクションリサーチ

16:45～17:15 ポスターセッション

森 康浩 (北海道大学大学院文学研究科)

The long-term effects of intrinsic motivation on household energy saving  
behavior: A case study of Asahikawa "Ene-Eco project"

小林 翼 (北海道大学大学院文学研究科)

A Text-mining-based Investigation of attitude change of Energy Saving:  
A Case Study of Asahikawa Ene-Eco Project

佐藤 浩輔 (北海道大学大学院文学研究科)

Procedural fairness is required for public acceptance under low trust situation:  
A case study of Zenibako Wind Power Plant in Hokkaido

北梶 陽子 (北海道大学大学院文学研究科)

When positive and negative sanctions cause non-cooperative behavior in a  
Social Dilemma Situation: A Study Using the "Industrial Waste Illegal Dumping  
Game"